

平成30年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会（全体に係る事業）
---------	-----------------------------

1 事業方針概要

当会の事業量の多くを占める養成研修委員会については、新研修制度が平成28年度から実施され、事業も定着しつつあることから、引き続き質の高い研修を円滑かつ確実に実施する。

また、総務・企画委員会については、社会の急速な進展に伴う会員ニーズの高度化、複雑化等の変化に対応して、総務委員会と企画・広報委員会に再編する。

1 各委員会と連携・調整を行いながら、部会を中心として活動の強化を図る。

① 総務委員会 ・組織の基本となる総会の運営や地域ブロックの活動及び災害対策を所管すると共に、日本介護支援専門員協会との連携を図る。

② 企画・広報委員会 ・近年社会的役割が期待されている主任介護支援専門員の部会や新たに設ける広報部会、更には会員からの相談に対応する会員サポート部会の設置により、会員の新たなニーズに積極的に対応する。

③ 研修委員会 ・研修委員会は、今社会問題となっているタイムリーな話題や国の施策に関連する話題などをテーマとした広域的なスケールの研修事業及び新潟県からの受託事業を重点的に実施する。

④ 養成研修委員会 ・事業内容が定着しつつあることから、今後は受講環境の一層の改善に努め、安定感のある質の高い研修を円滑かつ確実に実施する。

2 組織の安定運営と強化に努める。

2 活動内容(主たる活動、定例会議等)

活動内容	実施予定時期・月日	備考
理事会	第1回 5月17日(木)	前年度活動報告・決算案
	第2回 2月14日(木)	次年度活動計画・予算案
社員総会	第1回 6月14日(木)	前年度活動報告・決算案
	第2回 3月14日(木)	次年度活動計画・予算案

3 通年の基本活動

内容	実施予定時期・月日	具体的な活動
三役会議	随時	運営方針や活動計画の協議・検討
三役・委員長会議	随時	・各委員会における事業計画の進捗状況確認 ・次年度計画協議・検討

平成30年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	養成研修委員会（介護支援専門員法定研修）
---------	----------------------

1 事業の活動方針

<p>介護支援専門員が、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携・協働しながら、利用者の尊厳の保持を旨とした自立支援に資するケアマネジメントを実践するための研修を実施する。</p> <p>昨年度の研修実施状況やアンケート結果を踏まえ、より一層受講環境の改善に努め、円滑かつ質の高い研修とするため、十分な検討・協議を行いながら事業を実施する。</p> <p>(1) 養成研修委員会は、各事業ごとにその前後に開催し、実施前にはその方法や内容の等の確認を、実施後には内容の評価を行って次年度に繋げていく。</p> <p>(2) 講師等全体連絡会は年度当初に全ての講師・ファシリテーターを対象に実施方針を確認・共有し、研修実施に万全を期していく。</p> <p>(3) 企画会議、研修ワーキング会議及び講師連絡会は、各研修前にこれを行い、課題の解決を図りながら、質の高い研修の円滑な実施に努めていく。</p>

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
養成研修委員会 講師等全体連絡会 研修企画会議 研修ワーキング会議 講師連絡会	4, 7, 9, 11, 1月 7月9日 各研修課程実施前 // //	研修前後に内容確認、実施後の評価を行なう 研修内容確認・運営方法の共通理解を深める

3 年間の基本的活動（法定研修の実施）

研修名・内容	実施予定時期	会場	受講見込み者 (予定人数)	備考
主任介護支援専門員 更新研修 【46時間・8日】	5月7日～ 7月1日	朱鷺メッセ ハイブ長岡	300名	1コース
専門研修・更新研修 専門研修課程Ⅰ 【56時間・8日間】	7月2日～ 8月28日	朱鷺メッセ ハイブ長岡	400名	2コース 集合研修は朱鷺メッセで実施
主任介護支援専門員研修 【70時間・11日間】	9月10日～ 10月22日	朱鷺メッセ ユニゾン	160名	1コース
専門研修・更新研修 専門研修課程Ⅱ 【32時間・4日間】	10月30日～ 12月5日	朱鷺メッセ 上越 ハイブ長岡	700名	3コース
実務研修 【87時間・13日間】	1月10日～ 3月27日	朱鷺メッセ ハイブ長岡	400名	2コース 集合研修は朱鷺メッセで実施
再研修・更新研修 (実務未経験者) 【54時間・8日間】	1月10日～ 3月1日	朱鷺メッセ	300名	1コース 集合研修は実務研修と合同で朱鷺メッセにて実施

平成30年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	総務委員会
---------	-------

1 事業の活動方針

<p>複雑・高度化した会員ニーズに的確に対応するため、従来の総務・企画委員会を総務委員会と企画・広報委員会に再編し、総務委員会は次の事項に取り組む。</p> <p>(1) 組織の基本的な事項である次の取り組みを重点的に行う。</p> <p>① 役員の変更期であるため、会員理事改選の準備及び実施</p> <p>② 地域ブロックの活性化へ向けて、会員相互のネットワークづくり等への取り組み</p> <p>③ 近年多発する異常気象災害や地震に対する災害支援への取り組み</p> <p>(2) 日本介護支援専門員協会（以下「日本協会」）との連携。新潟県支部の会員拡大を図る為の広報及び入会申込書の配布を実施する。また甲信越ブロック研修会を開催する。</p> <p>(3) 独立型居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員に対し、その活動を支援するため情報交換会等を開催する。</p>
--

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期等	備考
総会運営	6月・3月	
委員会定例会議	4月・11月・12月	組織のあり方の検討 入会促進の検討
選挙管理委員会	4月16日・5月15日	会員理事の選出の運営
地域ブロック部会	通年	研修会を通しての会員拡大の取組 ブロック活動の運営・調整
災害支援部会	5月・9月	研修の企画運営
	通年	災害関連団体との連携と参加 災害派遣会員登録の促進
日本協会との連携	通年	会員拡大への取組
	11月	甲信越ブロック研修会の開催

3 年間の基本的活動（研修等）

研修・企画名	実施予定時期	会場	参加対象者 (予定人数)	備考
独立型事業所等に勤務する介護支援専門員の集い	5月17日	新潟ユニゾンプラザ	30人	
総会・総会時研修	6月14日	新潟ユニゾンプラザ	300人	
	3月14日	燕三条地場産センター		
選挙管理委員会	4月～6月	新潟ユニゾンプラザ	会員	
ブロック理事連絡会	7月・11月	新潟ユニゾンプラザ	会員理事	
災害対応研修	5月22日	燕三条地場産センター	100人	
	9月3日	新潟ユニゾンプラザ	100人	
日本介護支援専門員協会 甲信越ブロック会議・研修会	11月1・2日	燕三条地場産センター	250人	県協会実践 報告会と共催

平成30年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	企画・広報委員会
---------	----------

1 事業の活動方針

<p>複雑・高度化した会員ニーズに的確に対応するため、従来の総務・企画委員会を総務委員会と企画・広報委員会に再編し、企画・広報委員会は、会員ニーズの高い、新たな分野の事業を部会を設置して積極的に展開する。</p> <p>(1) 主任介護支援専門員の社会的期待に対応するため、主任介護支援専門員部会を設置し、専門性の向上を図るための研修やネットワークの形成を推進する。</p> <p>(2) 従来より会員からの要望の多い施設介護支援専門員に関する課題に対応するため、施設介護支援専門員部会(準備会)を設置し、研修の企画・運営や、ネットワークの形成を推進する。</p> <p>(3) 広報部会を設置し、情報の提供や県協会の活動への理解の促進を図る。</p>
--

2 活動の内容(主たる活動、定例会議等)

活動内容	実施予定時期等	備 考
委員会定例会議	4月・11月・12月	
主任介護支援専門員部会	通 年	会議の開催 研修の企画運営 ネットワーク形成
施設介護支援専門員部会	通 年	会議の開催 研修の企画運営 ネットワーク形成
広報部会	年6回	広報紙の発行、ホームページの作成
会員サポート部会	通 年	専門員証更新キャンペーン(県受託事業) 相談窓口の開設準備
受験対策模試	7月・8月	実務研修受験用模擬試験の実施

3 年間の基本的活動(研修等)

研修・企画名	実施予定時期	会 場	参加対象者(予定人数)	担 当	備 考
ファシリテーター研修	7月30日	燕三条地場産センター メッセピア	100名	主任部会	対象者:主任
地域同行型研修	8月 下旬	上越地域	100名	主任部会	対象者:主任
施設介護支援専門員研修	7月 6日	新潟ユニゾンプラザ	120名	施設部会	
	9月 7日		120名		
受験対策模擬試験	7月22日	燕三条地場産センター リサーチコア	60名		
	8月19日	新潟ユニゾンプラザ	60名		

平成30年度 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会 事業計画

委員会・事業名	研修委員会
---------	-------

1 事業の活動方針

研修委員会は、会員が自らの資質向上を図り、その専門性を高めるため、養成研修委員会と連携して研修事業を実施するとともに、その充実を図る。

これまでの当会主催の法定研修以外の自主研修は、全て研修委員会で所管し実施してきたが、個別の主任研修や災害研修などについては、それを所管する委員会が実施することとして、研修委員会が実施する研修は、今社会問題となっているタイムリーな話題や国の施策に関連する話題などをテーマとした広域的なスケール感のある研修事業や新潟県から受託した研修事業等に重点を置きながら、今年度は下記事業を実施すると共に、会員以外の方々にも参加を働きかけ、事業効果の向上と会員の拡大に努める。

- (1) 高齢者支援を図る上で医療的な知識を深めることはきわめて重要となる。そのため第1回全体研修では、医学的研修を実施し医療との連携が深められるようにする。
- (2) 高齢化の進展により、近年身寄りのない1人住まいの高齢者が増加しており、これらの方々の支援の在り方等について第2回全体研修で考える。
- (3) 喫緊の行政課題に対応した新潟県からの委託事業については、積極的に受託し、行政との協働により、高齢者福祉の向上に努める。

2 活動の内容（主たる活動、定例会議等）

活動内容	実施予定時期・月日	備考
研修会等の企画、運営の為に会議及び研修会の開催	定例会議開催月 4月・7月・10月・1月	会議はその他随時開催

3 年間の基本的活動（研修等）

研修名・内容	実施予定時期	会場	参加対象者 (予定人数)	備考
第1回全体研修会	5月31日	新潟エゾノプラザ	会員・非会員 (150名)	医学的研修
第2回全体研修会	未定	未定	会員・非会員 (150名)	社会問題研修
アセスメント研修	9月14日 15日	新潟エゾノプラザ	会員・非会員 (150名)	県からの受託事業
介護支援専門員 新任研修	12月14日 15日	新潟エゾノプラザ	会員・非会員 (80名)	原則1年未満の現任者 及び希望される方